様式４

学校番号　（　中　１５　）　学校名　（光が丘第一中学校　）　教科名　（　技術・家庭科　）

指導技術		観点別の授業改善の視点			
教師の指導 （授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等）		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	工夫・創造を向上させるための手だて	生活の技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導入	・早めに特別教室で待ち、早く来た生徒と授業の内容について話をしながら、チャイムが鳴るまでに全員が授業に向けての気持ちの準備ができるようにする。 ・始業前に、生徒が使用するコンピューターの電源を入れ、教員機の画面を送信しておく。	・できるだけ生徒が興味を持てる内容を選んで作業を進められるように話をする。	・全員が同じ作品を制作するなかでも自分なりの工夫が入れられるように、制作の自由度の幅をもたせていることを説明する。	・必要な操作のポイントを実際の操作を見せながらしっかりと伝える。	・前回行った作業の確認をするとともに、知識に関する部分の説明を毎回少しずつ行うようにする。
展開	・作業が早く進んでしまった生徒については、発展的な課題や高度な作業に挑戦させることでより技能を高めたり、作業の遅い生徒の補助をすることで復習ができるようにする。 ・特定の生徒につきっきりにならないように注意しながら机間巡視をし、一人一人の生徒の作業を見て、声掛けをし、作業意欲の向上を図る。	・具体的な例示を多くし、日常生活との関連を意識させるようにする。 ・技能や意欲が高い生徒は、さらに難しい課題や技法に挑戦させるようする。	・共通の題材だけでなく、自分で作業する内容を選べるようにする。	・基礎的、基本的な技能について、繰り返し指導をする。 ・落ち着いて作業ができる時間をなるべく長く確保できるようする。	・実際に作業をしながら、得た知識の確認を行うようにさせる。
まとめ	・作業のやり方の確認や片づけ方などを生徒に説明する。 ・本時の中で上手く作業が出来ていたところなどを紹介するとともに、次回の授業の予告をする。	・授業や製作を振り返っての感想（工夫した点、苦労した点、今後の課題）なども、個々の生徒が反省（自己評価）できるようする。	・工夫した点などを振り返って、他にも良いアイデアがないか、考えさせるようにする。	・作業のやり方などで気になった点があれば全体にも紹介し、次回以降の改善を促す。	・覚えなければならない用語などは、プリントを配布しいつでも確認できるようにしておく。